

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2002-542902(P2002-542902A)
【公表日】平成14年12月17日(2002.12.17)
【出願番号】特願2000-615093(P2000-615093)
【国際特許分類第7版】
A 6 1 M 25/00
【FI】
A 6 1 M 25/00 4 2 0 H

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月7日(2005.1.7)

【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1直径を有する尿道に挿入するようになっている尿管アクセスシースであって、

第2直径と、近位端と遠位端との間を延びる内腔と、を有する細長い管と、
管の近位端に配置されたハンドルと、

ハンドルに身体導管の第1直径よりも大きい第3直径を与えるために、管の半径方向外方に延びるハンドルの部分と、
を有し、前記ハンドル部分は、管の近位端の尿道への遠位方向移動を阻止する、尿管アクセスシース。

【請求項2】 ハンドル部分は、ほぼ遠位方向に向いた第1面と、ほぼ近位方向に向いた第2面と、によって構成される、請求項1に記載のアクセスシース。

【請求項3】 第2面は管の内腔に通ずる漏斗を形成する、請求項2に記載のアクセスシース。

【請求項4】 シースは1対の隣接した指を有する人によって使用されるようになっていて、第1面は連続的であり、且つ使用者の隣接した指を受け入れるように寸法決めされ、且つ形成される、請求項3に記載のアクセスシース。

【請求項5】 第2面は凸状である、請求項3に記載のアクセスシース。

【請求項6】 第1面は凹状である、請求項4に記載のアクセスシース。

【請求項7】 第2面は管に沿う漸次等しい遠位位置で半径方向に内方に減少して延びる、請求項5に記載のアクセスシース。

【請求項8】 第1面は管に沿って漸次等しい遠位位置で半径方向に内方に減少して延びる、請求項6に記載のアクセスシース。

【請求項9】 細長い管はコイルばねを有する、請求項1に記載のアクセスシース。

【請求項10】 医療器具を尿道に挿入する方法であって、

近位端と遠位端との間で軸線に沿って延びる内腔を有する細長い管を有し、且つ管の近位端にハンドルを有する尿管アクセス具を準備する段階と、

遠位方向に向いた面と近位方向に向いた面とを有するハンドルを形成する段階とを有し、前記遠位方向に向いた面は、使用者の手の二つの隣接した指を受け入れるように寸法決めされ、且つ形成され、

医療具を出し入れするために管の遠位端を尿道に手術位置まで挿入する段階と、

医療具を管の内腔の近位端の中へ遠位方向に移動させ、且つ管の内腔を通して尿道の中

へ遠位方向に移動させる段階と、

移動段階中、遠位方向の力を尿管アクセスシースに与える段階と、

近位方向の力をハンドルの遠位方向に向いた面に与え、遠位方向の力に対向させて、アクセスシースを作動位置に維持する段階と、

を有する医療器具を尿道に挿入する方法。

【請求項 1 1】 形成段階は、凹状形態を有する遠位方向に向いた面を形成する段階を含む、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 2】 形成段階は、凸状形態を有する近位方向に向いた面を形成する段階を有する、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】 ハンドルを所定位置を超えて管に沿って遠位方向軸線方向に移動させる段階と、

所定位置のほぼ近位方向に延びる管の部分を取り外す段階と、

このハンドルを管に沿って所定位置まで軸線方向近位方向に移動させる段階と、をさらに有する、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 4】 所定位置でハンドルと管との間のほぼ固定関係を容易にする、段階をさらに有する、請求項 1 4 に記載の方法。

【請求項 1 5】 作動路を備えた細長い管の形態を有する手術アクセス具用のハンドルであって、

アクセス具の管上において、管に沿って所定位置まで移動するように寸法決めされ、且つ形成されたハンドルの遠位部分と、

広がり形態と、ほぼ近位方向に向いた面と、を有するハンドルの近位方向の部分と、を有し、ほぼ近位方向に向いた面は、ハンドルに沿う漸次遠位方向の位置で半径方向内方に延びる、

手術アクセス具用のハンドル。

【請求項 1 6】 遠位方向の部分は、ハンドルが管に沿う所定位置に作動的に配置されるとき、管とハンドルとの間のほぼ固定関係を容易にするように半径方向内方に移動可能な係合具を含む、請求項 1 5 に記載のハンドル。

【請求項 1 7】 アクセス具の管には、管に沿って配置された複数の環状バンプが形成され、ハンドルの係合具は、バンプの所定の一つを所定位置で係合するようになっている移動止めを含む、請求項 1 6 に記載のハンドル。

【請求項 1 8】 係合具は、管に沿うハンドルの移動を容易にする第 1 状態と、管に沿う所定位置でハンドルと管との間のほぼ固定関係を容易にする第 2 状態と、を有する、請求項 1 6 に記載のハンドル。

【請求項 1 9】 係合具は第 2 状態に付勢される、請求項 1 8 に記載のハンドル。

【請求項 2 0】 係合具は、

管のまわりに配置されたエラストマーワッシャーと、

所定位置でハンドルと管との間の固定関係を容易にするためにワッシャーを管に押しつけるように作動するナットと、

を有する、請求項 1 8 に記載のハンドル。

【請求項 2 1】 外科用アクセスに所望長さを与える方法であって、

作動路を有する細長い管、及び管に嵌まるようになった係合具を有するハンドル組立体を準備する段階を有し、ハンドルは、係合具が第 1 状態にあるとき、管と移動可能な関係を有し、且つ係合具が第 2 状態にあるとき、管と固定関係を有し、

係合具を第 1 状態に配置する段階と、

細長い管の部分を取り出し、管の長さをほぼ所望な長さに短くする段階と、

ハンドルを管に沿って所定位置に移動させる段階と、

係合具を第 2 状態に配置して、ハンドルを所定位置で管に固定して、アクセス具に所望な長さを与える段階と、

を有する方法。

【請求項 2 2】 第 2 供給段階は、係合具に管に嵌まるように寸法決めされ、且つ形

成された、エラストマーワッシャーを準備する段階を含み、第2配置段階は、ワッシャーを管に圧縮する段階を含む、請求項21に記載の方法。

【請求項23】 1対の隣接した指を有する人によって使用されるようになっていて、第1直径を有する尿道に挿入するようになっていた尿管アクセスシースであって、

尿道の第1直径よりも小さい第2直径と、近位端と遠位端との間を延びる内腔と、を有する細長い管と、

管の近位端に配置された第1ハンドルと、

第1ハンドルに尿道の第1直径よりも大きい第3直径を与えるために、管の半径方向外方に延びる第1ハンドルの部分と、

を有し、前記ハンドル部分は、ほぼ遠位方向に向いた第1面と、ほぼ近位方向に向いた第2面と、によって構成され、

前記尿管アクセスシースは、第1ハンドルの遠位方向に配置され、ほぼ近位方向に向いた第3面を有する第2ハンドルを有し、

第1面及び第3面は、凹状であり、連続的であり、かつ両方とも使用者の隣接した指を受け入れるように寸法決めされ、且つ形成され、

第1面は、環状凹部を構成するように第3面と連続的であり、

第2面は、管の内腔に通ずる漏斗を形成するように凸状であり、

前記ハンドル部分は、尿道への管の近位端の遠位方向移動を阻止することを特徴とする尿管アクセスシース。

【請求項24】 第2面は管に沿う漸次等しい遠位位置で半径方向に内方に減少して延びる、請求項23に記載のアクセスシース。

【請求項25】 第1面は管に沿って漸次等しい遠位位置で半径方向に内方に減少して延びる、請求項24に記載のアクセスシース。

【請求項26】 細長い管はコイルばねを有する、請求項23に記載のアクセスシース。

【請求項27】 作動路及び軸線を備えた細長い管を有する手術アクセス具用のハンドルであって、

軸線に沿う漸次遠位方向位置で減少する半径を構成する遠位方向に向いた凹状面と、

遠位方向に向いた凹状面とほぼ平行である第1の近位方向に向いた凸状面と、

遠位方向に向いた凹状面の遠位側にあり、環状凹部を構成するように、遠位方向に向いた凹状面と連続的である第2の近位方向に向いた凹状面と、

を有することを特徴とする、手術アクセス具用のハンドル。

【請求項28】 遠位方向に向いた面は、全体を通じてほぼ湾曲している、請求項27に記載のハンドル。

【請求項29】 第1の近位方向に向いた面は、全体を通じてほぼ湾曲している、請求項27に記載のハンドル。

【請求項30】 尿管アクセスシースであって、

近位端と遠位端との間を延びる内腔を有する細長い管と、

広がり形態と、ほぼ遠位方向に向いた第1面と、ほぼ近位方向に向いて内腔に通ずる漏斗器具に形成された第2面と、を有する管の近位端に配置されたハンドルと、

細長い管のまわりに形成されて、これを被覆する外側本体を有するコイルばねと、を有することを特徴とする尿管アクセスシース。

【請求項31】 第1面は凹状である、請求項30に記載の尿管アクセスシース。

【請求項32】 第2面は凸状である、請求項31に記載の尿管アクセスシース。

【請求項33】 第1面は凸状である、請求項30に記載の尿管アクセスシース。

【請求項34】 第2面は凹状である、請求項33に記載の尿管アクセスシース。

【請求項35】 コイルばねは管にキック抵抗を与える、請求項30に記載の尿管アクセスシース。

【請求項36】 管は器具の通過を容易にする平滑な面をもたらす、請求項30に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 37】 外側本体はコイルばねのための被覆を提供する、請求項 30 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 38】 器具は、近位端と遠位端との間に延びる細長いロッドからなるオプトラトールを含む、請求項 30 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 39】 オプトラトールは、ハンドルに取り外し可能に取り付けできる細長いロッドの近位端に配置された解放可能な機構をさらに含む、請求項 38 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 40】 オプトラトールのシースへの取り付けは、オプトラトールの前でシースの不用意な前進を防止する、請求項 39 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 41】 尿管アクセスシースであって、
近位端と遠位端との間に延びる内腔を有する細長い管と、
管の近位端に配置され、管の半径方向外方に延びて、管の内腔に通ずる孔を備えた漏斗を形成するハンドルと、
細長い管のまわりに形成されたコイルばねと、
を有し、このコイルばねは、これを被覆する外側本体を有することを特徴とする尿管アクセスシース。

【請求項 42】 コイルばねは管にキック抵抗を与える、請求項 41 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 43】 管は器具の通過を容易にする平滑な面をもたらす、請求項 41 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 44】 外側本体はコイルばねのための被覆を提供する、請求項 41 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 45】 器具は、近位端と遠位端との間に延びる細長いロッドからなるオプトラトールを含む、請求項 43 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 46】 オプトラトールは、ハンドルに取り外し可能に取り付けできる細長いロッドの近位端に配置された解放可能な機構をさらに含む、請求項 45 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 47】 オプトラトールのシースへの取り付けは、オプトラトールの前でシースの不用意な前進を防止する、請求項 46 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 48】 尿管アクセスシースであって、
近位端と遠位端との間に延びる内腔を有する細長い管と、
管の近位端に配置され、管の半径方向外方に延びて、管の内腔に通ずる孔を備えた漏斗を形成するハンドルと、
細長い管に組み込まれたコイルばねと、
を有することを特徴とする尿管アクセスシース。

【請求項 49】 コイルばねは管にキック抵抗を与える、請求項 48 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 50】 管は器具の通過を容易にする平滑な面をもたらす、請求項 48 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 51】 外側本体はコイルばねのための被覆を提供する、請求項 48 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 52】 器具は、近位端と遠位端との間に延びる細長いロッドからなるオプトラトールを含む、請求項 50 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 53】 オプトラトールは、ハンドルに取り外し可能に取り付けできる細長いロッドの近位端に配置された解放可能な機構をさらに含む、請求項 52 に記載の尿管アクセスシース。

【請求項 54】 オプトラトールのシースへの取り付けは、オプトラトールの前でシースの不用意な前進を防止する、請求項 53 に記載の尿管アクセスシース。